



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域づくりの核・第三セクター五ヶ瀬ワイナリー(株)の経営革新

須川 一幸 (すがわ かずゆき)

株式会社地域振興研究所／一般社団法人日本イベント協会／
五ヶ瀬ワイナリー株式会社 代表取締役／副理事長・九州本部
長／経営革新室長



○ 登録者情報

所在地

宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町

略歴

昭和48年3月西南学院大学経済学部経済学科卒業昭和48年4月小松建設工業株式会社入社（中部支店総務課）（昭和52年まで）昭和52年9月小松フォークリフト株式会社入社（輸出業務部、輸出営業部豪亜課）（昭和57年まで）昭和57年9月株式会社アドコスモ設立（取締役、イベントプロデューサー）（昭和58年まで）昭和58年11月株式会社コニー設立（イベントプロデューサー）（令和元年まで）平成3年3月株式会社地域振興研究所設立（代表、地域づくりプロデューサー）現在に至る平成12年4月九州保健福祉大学講師（非常勤）（平成15年3月まで）財団法人地域活性化センター地域づくり支援アドバイザー（現在）財団法人電源地域振興センター専門家派遣事業登録専門家（現在）日本商工会議所登録講師（現在）中小企業大学校講師（直方校、人吉校）（～平成18年）財団法人地域活性化センター全国地域リーダー養成塾講師（～2011年度）九州国立博物館交流事業監修アドバイザー・イベントプロデューサー（～2013年3月）財団法人地域活性化センター地域再生実践塾主任講師（～平成18年）熊本県農産物加工推進協議会「熊本県農産物加工食品コンクール」審査委員長（～2012年）独立行政法人中小企業基盤整備機構商業活性化アドバイザー（～2021年）独立行政法人中小企業基盤整備機構中心市街地商業活性化アドバイザー（商店街）（～2021年）福岡市商店街支援施策等協議会（審査会）委員（～2023年）長崎・雲仙・佐世保アンテナショップ「キトラス」販路拡大コーディネーター（～2013年3月）宮崎県日本のひなた地域づくり実践塾報告会審査員（現在）総務省 地域人材ネット登録・地域力創造アドバイザー（現在）内閣官房 地域活性化伝道師（平成23年度～現在）一般社団法人 日本イベント協会 副理事長・九州本部長（現在）一般社団法人 日本イベント協会 イベント総合研究所 主任研究員（現在）商店街よろず相談アドバイザー（要請支援型・訪問支援型）（～2021年）農林水産省 農山漁村活性化支援人材バンク登録（～2017.3）東京富士大学経営学部イベントプロデュース学科教授（2013年4月～2017年3月）客員教授（2017年4月～2018年3月）久留米大学経済学部非常勤講師（2018年4月～2023年3月）道の駅そよ風パーク支配人代行（2020年10月～2021年9月）五ヶ瀬町地域おこし協力隊（五ヶ瀬ワイナリー株式会社経営革新室長（2023年4月～現在）

著書・論文等

『都市・企業の周年記念事業企画事例集』（総合ユニコム）イベントレポート『博覧会の実施運営』（インタークロス研究所）『イベント企画の立て方・進め方コース』（日本能率協会）『イベント戦略データファイル』（第一法規出版）『これからのイベント活用コース』（日本マンパワー）『実践経営辞典』実践経営学会編（櫻門書房）『しっかりせんか！宮崎観光』（毎日新聞宮崎支局）『ニコリグットでいこう』（厚生科学研究所）『月刊観光』『E&C展示会情報』『宣伝会議』『まちづくり』『舞たうん』など専門雑誌に多数執筆。「西原村 熊本地震からの復活「萌の里」復興プラン」「都市農村交流による地域づくり——五ヶ瀬の新しい試みの実証研究——」「内発型地域産業おこし」「九州国立博物館のホスピタリティー 博物館のイメージを変えた市民応援団の取り組み」「農泊のホスピタリティー 五ヶ瀬町夕日の里の取り組み」「まちづくりイベントの一考察～太宰府の観光振興に学ぶ～」「南の島を輝かせるプロジェクト」「イベントによる公共施設の利活用の研究」「イベント手法による観光と特産品開発」「南の島々を輝かせるプロジェクト」「地域創生におけるイベントの機能～大分県竹田市「たけた竹灯籠 竹楽」の検証～」「まちづくりイベントの一考察～太宰府の観光振興に学ぶ～」「地域振興イベントの研究～九州地域ブランドフォーラムの実証～」「五ヶ瀬ワイナリーと地域活性化～地域づくり団体のイベントの効果の検証～」

○ 地域づくりの核・第三セクター五ヶ瀬ワイナリー(株)の経営革新

取組の内容

平成15年7月に設立された五ヶ瀬ワイナリー株式会社は20期連続で赤字。地域農業振興の核にならない施設(観光振興の核施設でもある)でありながら、一度も黒字になれなかった。そこで、地域おこし協力隊を指導してきた者として、地域おこし協力隊員として現場で実行することになり、令和5年4月に五ヶ瀬町地域おこし協力隊として赴任し、五ヶ瀬ワイナリー(株)の経営革新室長に就任した。

Mission1五ヶ瀬ワイナリーの経営革新(経営改善・黒字化、業務の効率化)

Mission2五ヶ瀬ワイナリーへの誘客(バスツアーの誘客、九州各県からの誘客、研修・ぶどう収穫ツアーの誘客、WEBによる広報PRの徹底)

Mission3五ヶ瀬ワイナリーの人材育成(業務分掌の明確化、仕事の基本指導、自立・自律して行動)

前半は支配人不在の中、銀行融資の継続のための10年間の事業計画の作成(具体的な行動と目標を明確化)と現場での実施を行ってきた。もちろん、役場や地域の住民や九州各県の人脈を生かし、協力・連携体制を築いてきた。



地域づくり団体研修情報交換会in宮崎
で五ヶ瀬ワインをPR・試飲



熊本駅前アミュ広場で五ヶ瀬ワインをPR・
試飲・販売

実績

1. 経費節減を実施し、赤字幅を減らした。経営戦略に基づく実施計画を全員で作成。結果、経費節減ができ、579万円の単年度黒字を初めて実現した。
2. バス会社193社へDM発行。商談会に参加したり、デパートに営業したり、福岡都市圏対策を計画、実施。NHKはじめマスコミ各社に情報を流すルートを構築し、インスタやFacebookなどのSNSを活用し毎日PR活動を実施。記事掲載や番組出演が増え、SNSを見ての来客が増加。
3. HACCP業務改善運動を実施し、業務分掌作成準備のための個人調書を作成。社員の意識改革へと結びつき、経費節減に全社一丸となり協力してくれた。

工夫した点や苦労した点

20年間の膿はそう簡単に取り除くことができない。まずは、私自身が社員に信頼されることが最優先で、半年間は支配人代行として社員のために働いた。後工程(私の指示で社員が仕事する)のある仕事を優先し、私だけで完結する仕事を後回しにして、社員が仕事しやすくしていった。また、結論をなるべく早く出し、社長決裁は電話で済ませ、書類は後回しにしていった。課題も多い。売上はまだコロナ前には戻らず(レストランや売店の売上はほぼ戻った)、ワイナリー外での売上増のための営業を強化しなければならない。原因は五ヶ瀬ワインの認知度が低いためである。試飲会等五ヶ瀬ワインの美味しさをアピールしていく必要がある。

ひとことPR

イベントプロデューサーや民間企業経験、企業コンサル、地域コンサルなどプロデュース業務を自ら実施していたために実現できている。報告書中心のコンサルとは違い、現場主義で地域の活性化を住民とともに実行してきた経験により貢献できている。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

| | |
|--|---|
| 1.地域資源を活用した地域経済循環 | 2.まちなか再生 |
| <input type="radio"/> 地域産品発掘・販路開拓 | 中心市街地活性化 |
| <input type="radio"/> 6次産業化 | 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策 |
| <input type="radio"/> 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援 | <input type="radio"/> 商店街活性化 |
| <input type="radio"/> 地域中核企業等の支援 | その他 |
| その他 | |
| 3.生活機能の維持 | 4.環境保全・SDGs |
| 地域医療・福祉 | 分散型エネルギーシステム |
| 地域交通 | 地球温暖化対策 |
| <input type="radio"/> 集落機能の確保 | 廃棄物・リサイクル対策 |
| その他 | その他 |
| 5.防災減災・危機管理 | 6.観光振興・交流 |
| 建築物耐震化・長寿命化 | <input type="radio"/> DMOとの連携 |
| 地区防災計画 | <input type="radio"/> インバウンド対応 |
| BCP | <input type="radio"/> 民泊・農泊 |
| <input type="radio"/> 避難所運営 | <input type="radio"/> 地域おこし協力隊の推進 |
| <input type="radio"/> 感染症対策 | その他 |
| その他 | |
| 7.関係人口の創出・拡大 | 8.移住・定住促進 |
| <input type="radio"/> 滞在・活動の場づくり | <input type="radio"/> 起業・事業承継等支援 |
| <input type="radio"/> 地域おこし協力隊の推進 | 空地・空家対策 |
| <input type="radio"/> 地域と関係人口の協働 | <input type="radio"/> 地域おこし協力隊の推進 |
| その他 | その他 |
| 9.少子化対策、子ども・子育て支援 | 10.地域づくり人材の育成・教育 |
| 結婚・出産・子育て支援 | <input type="radio"/> 人材研修 |
| 働き方改革 | <input type="radio"/> ふるさと教育 |
| 子どもの貧困対策 | <input type="radio"/> 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等) |
| その他 | その他 |
| 11.自治体経営イノベーション | 12.シティプロモーション・地域PR |
| <input type="radio"/> 財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備) | <input type="radio"/> 地域ブランディング |
| <input type="radio"/> 官民連携(PPP・PFI) | <input type="radio"/> メディア活用策 |
| <input type="radio"/> 自治体間連携 | 効果の把握・評価 |
| <input type="radio"/> 住民参加 | その他 |
| EBPMに基づく政策立案 | |
| その他 | |

関連ホームページ

| | |
|-------------|---|
| 株式会社地域振興研究所 | https://sugawa-tiiki.com |
| | |
| | |

連絡先

| | | |
|---------|-------------------------------|--|
| メールアドレス | kazusuga39 [アットマーク] gmail.com | |
|---------|-------------------------------|--|

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。